市連会9月定例会説明資料 平成28年9月12日 市民局市民活動支援課

みんなの協働フォーラムの御案内とアンケートへの御協力について(依頼)

日頃から、自治会町内会長の皆様方におかれましては、住みよい地域づくりのために第一線で御尽力いただくとともに、市政・区政の推進に多大な御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび市民局では、平成25年4月1日に施行された「横浜市市民協働条例」が施行されて3年が経過したことを契機に、協働に関し広く市民の皆様の御意見をお聴きするため、みんなの協働フォーラム(意見交換会)とアンケートを実施することとなりました。

つきましては、みんなの協働フォーラムについて御案内するとともに、お忙 しいところ恐縮ですが、アンケートの回答に御協力くださいますよう、よろし くお願いいたします。

【アンケートについて】

日頃、地域で御活動いただいている自治会町内会の皆様に、協働を進めるための環境づくり等についての御意見をお伺いするものです。

いただいた御意見は、今後の市の施策等に反映していきます。

【提出期限】

平成 28 年 10 月 31 日 (月)

【提出方法】

- ① |FAX|(045-223-2032) キリトリ線で切り取り、お送りください。
- ② | 郵 送| キリトリ線で切り取り、三つ折り・のりづけして投函してください。
- ③ WEB 横浜市市民局市民活動支援課ホームページ「協働に関するアンケート」 からご回答ください。

<担当>

市民局市民活動支援課 谷川·佐藤 電話:227-7915 FAX:223-2032 「協働ア Z 担当

横浜市市民局 # 民活動支援課

② 山折り

Fi

27

T

F

又 Jy \mathcal{O} T J 4 Ω σ X

 $\prod_{i=1}^{n}$

H

-1

横浜

#

-

N ω ∞

9

0

062

差出人有効期限 平成 29年3月 31日まで (郵便切手不要)

2327

①山折り

②のりしろ





みんなのでは、ラム

~市民の力が横浜の未来を創る!~

横浜には、市民・自治会町内会・NPO・企業・行政が知恵や力を合わせ、連携・協力 する「協働」の風土が息づいています。

横浜市市民協働条例施行後3年をきっかけに、「協働」を取り巻く環境の変化を捉え、 横浜らしい「協働」の姿を模索するフォーラムを開催します。

地域・社会を良くするプロジェクトに関心のある方、ぜひご参加ください。

開催概要

○開催日:平成28年10月10日(月・祝)12:30~17:00(開場12:00)

場:横浜情報文化センター6階(みなとみらい線 日本大通り駅直結)

○対 象:市民 NPO 企業 大学 行政 関心のある方

○定 員:先着 150 名 事前申込制

○参加費:無料 ※フォーラムについての最新情報は次のURLもしくはQRコードをご参照ください。

http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/shikatsu/sonota/minnnanokyodo.html

全体会 ▶「協働に進化の兆しアリ」 12:30 ~ 13:20

コーディネーター:内海 宏氏(NPO法人横浜プランナーズネットワーク) 中島 智人氏(産業能率大学経営学部 准教授)

横浜市には、地域の特性に応じて、市民の知恵により多様な協働が行われ、「協働の風土」 が培われてきた。それらが生まれた背景や最新事例を共有し、協働の進化の兆しを捉えます。

分科会:選択制 $13:35 \sim 15:35$

それぞれの分科会で設定したテーマに沿ったワークショップを行います。

①市民からの提案、その先の未来

次はあなたも提案者! 市民提案事業のプロセスを理解し 地域・市民を笑顔にするコトづくり! ② 地域の中の「私」「共」「公共」

自分らしさの発揮と、地域の中の気 になる課題を掛け合わせると、面白 位置づけが欠かせない。 いかたちの"輪っか"がいくつも! あったかい未来の作り方のヒント。

③ やっぱり肝!?条例&契約再考

協働関係の担保には条例と契約の 今一度、協働契約のあり方や協働の 姿を考えてみませんか?

| 「協働 Next ステージへ」(パネルディスカッション) 15:50 ~ 17:00

各分科会からの報告を踏まえ、今後の協働を更なる進化に"つなげる"ために欠かせない、 「環境づくり」について考えます。

開催にあたって

本フォーラムは以下の実行委員会メンバーが企画から参画しています。(五十音順)

NPO 法人いこいの家夢みん 理事長 伊藤真知子 NPO 法人横浜プランナーズネットワーク 内海宏 NPO 法人くみんネットワークとつか 職員 中嶋伴子 産業能率大学経営学部 准教授 中島智人

NPO 法人フェアスタートサポート 代表理事 永岡鉄平 NPO 法人び一のび一の 理事 原美紀

NPO 法人よこはま里山研究所(NORA)理事長 松村正治 横浜市立大学学術院国際総合科学群 准教授 三輪律江 松見2丁目西部町内会 会長 山根誠

NPO 法人グリーンママ 理事長 松岡美子

認定 NPO 法人市民セクターよこはま 事務局長 吉原明香

関内イノベーションイニシアティブ(株) 代表取締役 治田友香

【主催】

みんなの協働フォーラム実行委員会 横浜市市民活動支援センター 横浜市 【問い合わせ】

横浜市市民活動支援センター TEL:045-223-2666 FAX:045-223-2888 Eメール:daihyo@hamacen.jp

フォーラムへの申し込み

FAX: 045-223-2888

○フォーラムへの参加を希望される方へ

次の事項をご記入のうえ、FAXまたはEメールでお申し込みください。

FAX番号(045-223-2888)

Eメール (daihyo@hamacen.jp)

横浜市市民活動支援センター 行

氏名	所属先	連絡先	希望する分科会番号
		TEL:	第1希望:
		Eメール:	第2希望:
		TEL:	第1希望:
		Eメール:	第2希望:

※参加を希望する分科会については、会場の都合があるため、目安として伺っています。 当日はお好きな分科会にご参加ください。(ただし定員あり)

※ご提供いただいた個人情報は、本フォーラムに関するお申し込みの受付・連絡のみに使用させていただきます。

協働に関するアンケートのお願い

~市民みんなが力を合わせて、未来の横浜のまちづくりに取り組むために~ 「協働」に関するアンケートにご協力ください。

横浜では、自治会町内会や NPO 等、様々な団体や市民の皆さん、企業、区役所・市役所等が、 知恵や力を合わせ、住みよいまちをつくる、参加と協働による地域づくりが進んできています。

今年は、そうした取組をさらに推進する「横浜市市民協働条例※」が施行されてから3年が経ちました。

そこで、日頃、地域で活動する市民や企業の皆様にアンケートを行い、未来の横浜のまちづくりに向けて、多様な市民が連携、協力して、地域や社会の課題解決に取組むためには、どのような環境づくりが必要なのか、ご意見をお伺いすることとなりました。いただいたご意見や地域の事例は、このフォーラムなどで紹介したり、今後の市の施策に反映していきます。どうぞご協力をお願いします。

※ 横浜市市民協働条例:市民協働に関する基本的事項を定めることにより、市民等が自ら広く公共的又は公益的な活動に参画することを促進し、もって自主的・自律的な市民社会の形成に資することを目的として、平成25年4月1日に施行されたものです。

「協働」とは、地域の様々な団体や、企業、区役所・市役所等がお互いによいところを持ち寄って、一緒に住みよいまちをつくっていこう、というものです。

次のいずれかの方法で10月31日までにお送りください。

- ① FAX (045-223-2032)キリトリ線で切り取り、お送りください。
- ② 郵送 キリトリ線で切り取り、三つ折り・のり付けして投函してください。
- ③ WEB 横浜市市民局市民活動支援課ホームページ「協働に関するアンケート」からご回答ください。

横浜市市民局市民活動支援課

検索

問合せ先:横浜市市民局市民活動支援課(TEL:045-227-7915 FAX:045-223-2032)

アンケート回答用紙

FAX: 045-223-2032

自治会町内会

あなたの活動の"つながりの輪"について教えてください

- ① 日頃の活動の中で、地域の様々な人や団体、企業、区役所・市役所などと知恵や力を出し合い、 一緒に活動を行うことについて、どのように考えていますか。当てはまるもの1つに○をお付けください。
 - 1. 重要であり、すでに取り組んでいる。
 - 2. 重要であり、今後取り組みたい。
 - 3. 重要であるが、取組むことが難しい。(理由:
 - 4. 必要性、メリットを感じない。

(理由:

② 他の団体などと一緒に活動を行って、「よかった」と感じた取組があれば教えてください。 (例:保健活動推進員や地域ケアプラザ等と一緒に健康ウォーキングイベントを開催した結果、 ○○につながった。他の団体等と協力して地域行事、防災減災活動、認知症啓発などを行った 結果、○○になった)

連携した相手 (あてはまるものに○)	取組の内容・よかったこと
社会福祉協議会(市・区・地区)・	【取組の内容】
地区民協・地区青指協・	
地区スポーツ推進委員協・	
地区保健活動推進員・	
PTA・学校・	
地域ケアプラザ(包括)・地区センター・	【よかったこと】
ボランティア団体・NPO法人・	
企業・商店会・区役所・市役所	
その他	

- ③ 様々な団体同士が一緒に活動していくためには、どんなことが必要だと思いますか。 当てはまるものに〇をお付けください。(複数回答可)
 - 1. 相談できる人や場や機関があること
 - 2. 助成金などの情報が得られること
 - 3. 地域の課題に関する行政等の情報が得られること
 - 4. 地域で活動している団体の情報が得られること
 - 5. 地域の団体同士が情報交換や交流できる機会があること
 - 6. 団体や様々な主体をつなげる人や場や機関があること
 - 7. 地域の課題やその展望などを議論できる機会があること
 - 8. 社会への働きかけや政策や制度等に関する対話の機会があること
 - 9. その他(
- ④ 協働に関し、何かご意見等がありましたら、教えてください。

ご協力ありがとうございました。よろしければ団体名をご記入ください。 団体名: